

痛ましい事故をなくすために



令和3年12月22日(水)にスーパーセンターオークワ養老店にて養老警察署、養老地区交通安全協会、岐阜トヨタ自動車株式会社養老店の協力のもと安全運転サポート車両乗車体験イベントを開催しました。このイベントは、交通安全意識の向上や高齢ドライバーによる事故が増加している現状において車両の見直しを呼びかけるために実施しました。

参加者は反応年齢のテストや自動ブレーキなどの機能が搭載されている安全運転サポート車両への乗車を体験しました。乗車を体験した参加者からは「現在はサポート機能が搭載されていない車に乗っているが、次は搭載されている車を買いたい」という意見が出ていました。安全運転サポートの安全性を体験する貴重な機会となりました。

シートベルトがいのちを守る



令和3年12月7日(火)に養北小学校にてJAF(日本自動車連盟)、養老警察署、県事務所と共催で4～6年生の児童を対象とした交通安全教室を開催しました。

養老警察署の出口 哲 さんは「車は止まってくれるという認識はすぐに改めてください。時間に余裕を持って行動し、必ず自分の目で安全確認を行ってから行動を取るようにしましょう。また車に乗るときには後部座席であっても必ずシートベルトをするようにしてください。後部座席が安全なわけではありません」と自分のいのちを守るため講話をしました。

講話の後にはシートベルトの重要性を体験できる衝突体験車に乗り、時速5kmでの衝突を体験しました。児童たちはこの体験をとおして、シートベルトがいかに大切か身を持って学びました。

郷土愛と感謝の気持ちで世の中を明るく～光のメッセージ～



令和3年12月23日(木)に養老駅にてイルミネーションの点灯式が行われました。コロナ禍で暗くなった世の中を“郷土愛”と医療従事者への“感謝”の気持ちで明るく照らしたいという思いを大垣養老高校の「瓢箪倶楽部秀吉」プロデュースにより表現しました。またこの事業は、この思いに賛同した東海環状自動車道施工業者「前田建設工業株式会社」の全面バックアップにより行われました。

3・2・1の合図でボタンが押され、養老駅に光が灯されると周囲からは歓声が起きました。また、高校生らによってありがたいメッセージパネルが作成され、感謝も表現しました。イルミネーションは3月31日(木)まで、17時～22時まで点灯いたします。